

Q7 Q6で「活動している」と答えた方にお尋ねします。

医師の確保をしようとして6月以上要している場合であって、確保の目途が立っていない医師は次のどの診療科で何人ですか。（非常勤医師の場合は常勤換算してご記入ください。）

①小児科

	回答数(%)
1人	103(70.1)
2人	30(20.4)
3人	8(5.4)
4人	4(2.7)
5人以上	2(1.4)
小計	147(100.0)
無回答	395
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない小児科医の数は、「1人」が70.1%と最も多く、「2人」が20.4%。

[クロス集計]：病床数との差はみられない。地域別では関東、近畿、中国、九州での確保の困難さが大きい傾向にあった。

②産科

	回答数(%)
1人	82(58.6)
2人	42(30.0)
3人	13(9.3)
4人	0(0.0)
5人以上	3(2.1)
小計	140(100.0)
無回答	402
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない産科医の数は、「1人」が58.6%と最も多く、「2人」が30.0%。

[クロス集計]：病床数との差はみられない。地域別では北海道、中国、九州に対し、四国、中部、近畿の方がより需要が多い傾向だった。

③内科

	回答数
1人	100(33.0)
2人	110(36.3)
3人	48(15.8)
4人	21(6.9)
5人以上	24(7.9)
小計	303(100.0)
無回答	239
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない内科医の数は、「2人」が36.3%、次いで「1人」が33.0%。

[クロス集計]：病床数、地域別ともに差はみられない。

④外科

	回答数(%)
1人	77(64.2)
2人	34(28.3)
3人	6(5.0)
4人	3(2.5)
5人以上	0(0.0)
小計	120(100.0)
無回答	422
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない外科医の数は、「1人」が64.2%と最も多く、「2人」が28.3%。

[クロス集計]: 病床数との差はみられない。地域別では北海道、東北、四国、近畿において需要数の程度が若干少ない傾向であった。

⑤放射線科

	回答数(%)
1人	94(79.0)
2人	24(20.2)
3人	1(0.8)
4人	0(0.0)
5人以上	0(0.0)
小計	119(100.0)
無回答	423
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない放射線科医の数は、「1人」が79.2%と最も多く、「2人」が20.2%。

[クロス集計]: 病床数との差はみられない。地域別では四国で需要数が少なく、東北の需要数の多さが目立った。

⑥麻酔科

	回答数(%)
1人	115(66.1)
2人	48(27.6)
3人	10(5.7)
4人	0(0.0)
5人以上	1(0.6)
小計	174(100.0)
無回答	368
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない麻酔科医の数は、「1人」が66.1%と最も多く、「2人」が27.6%。

[クロス集計]: 病床数の多い施設ほど多数の医師確保に努力している傾向にある。地域別では北海道、中国、四国において需要数が少なく、関東、東北において多い傾向が見られた。

⑦病理科

	回答数(%)
1人	77(98.7)
2人	1(1.3)
3人	0(0.0)
4人	0(0.0)
5人以上	0(0.0)
小計	78(100.0)
無回答	464
計	542

Q6で、医師の確保に向けて「活動している」が確保の目途が立っていない麻酔科医の数は、「1人」が98.7%と圧倒的に多い。

[クロス集計]： 回答した施設においては病床数に関わりなく、すべての施設において1～2名の医師確保を求めている。地域別では中部に複数医師の確保を求める傾向が強かった。

⑧その他の診療科

	回答数(%)
1人	84(36.7)
2人	81(35.4)
3人	35(15.3)
4人	15(6.6)
5人以上	14(6.1)
小計	229(100.0)
無回答	313
計	542

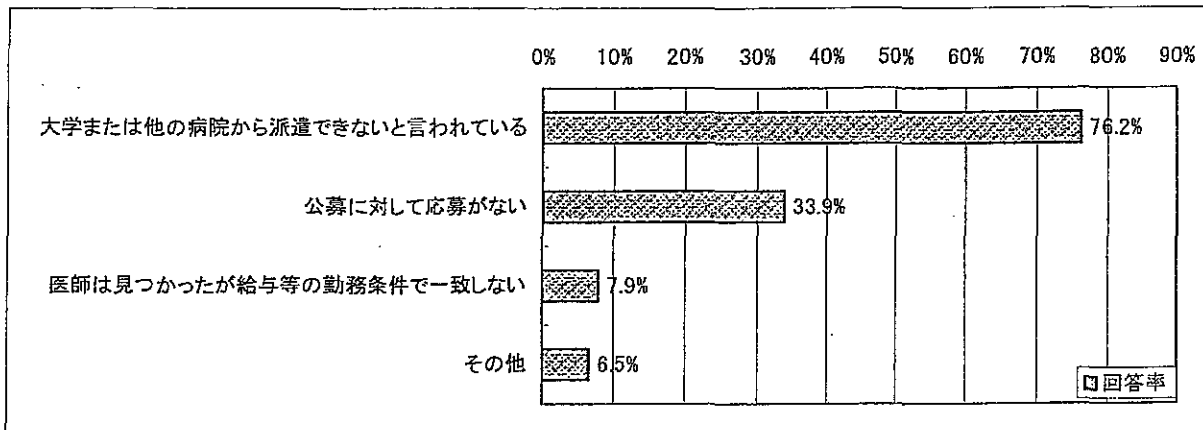
[クロス集計]： 病床数、地区別における差は見られない。

Q8 Q7で答えた方にお尋ねします。

医師の確保が難しい主な理由は次のどれですか。

n=542

	回答数	回答率
大学または他の病院から派遣できないと言われている	413	76.2%
公募に対して応募がない	184	33.9%
医師は見つかったが給与等の勤務条件で一致しない	43	7.9%
その他	35	6.5%



医師の確保に向けて具体的に活動しているが、確保が難しい主な理由として、「大学または他の病院から派遣できないと言われている」が76.2%と圧倒的に多く、次いで「公募に対して応募がない」が33.9%。

Q9 日頃の貴院の外来診療や入院治療の状況など地域の医療ニーズを踏まえ、貴院の医師数は現実的に足りていると考えていますか。

(病院経営や医師定数等を考慮せず、地域の医療ニーズに対して良質かつ適切な医療を提供する観点のみからお答えください。)

	回答数(%)
足りている	53(9.5)
足りていない	503(90.5)
小計	556(100.0)
無回答	20
計	576

病院経営や医師定数等を考慮せず、地域の医療ニーズに対して良質かつ適切な医療を提供する観点から、90.5%が医師数は「足りていない」と考えている。「足りている」は僅か9.5%。

○「足りている」と回答した病院

①開設主体

	会員病院数	回答数 (除無回答)	足りている	回答率
1. 国、独立行政法人(国立大学法人を除く)関係	185	27	3	11.1%
2. 国立大学法人、学校法人関係	57	7	1	14.3%
3. 自治体立関係	381	168	18	10.7%
4. その他公的病院等関係	361	128	11	8.6%
小計	984	330	33	10.0%
5. 医療法人関係	1,149	151	12	7.9%
6. その他	402	75	8	10.7%
小計	1,551	226	20	8.8%
計	2,535	556	53	9.5%

②病床数

	会員病院数	回答数 (除無回答)	足りている	回答率
1. 200床未満	1,235	188	24	12.8%
2. 200～400床未満	752	193	15	7.8%
3. 400床以上	548	175	14	8.0%
計	2,535	556	53	9.5%

③地域

	会員病院数	回答数 (除無回答)	足りている	回答率
1. 北海道	104	20	1	5.0%
2. 東北	152	46	4	8.7%
3. 関東	710	151	17	11.3%
4. 中部	507	151	15	9.9%
5. 近畿	523	78	7	9.0%
6. 中国	175	40	3	7.5%
7. 四国	101	20	2	10.0%
8. 九州	263	50	4	8.0%
計	2,535	556	53	9.5%

Q10 Q9で「足りていない」と答えた方にお尋ねします。

足りていないと考える医師は次のどの診療科で何人とお考えですか。

①小児科

	回答数(%)
1人	132(57.1)
2人	63(27.3)
3人	23(10.0)
4人	6(2.6)
5人以上	7(3.0)
小計	231(100.0)
無回答	272
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の小児科医の数は、「1人」が57.1%と最も多く、「2人」が27.3%。

[クロス集計]: 病床数との差はみられなかった。地域別では近畿、九州、関東で不足の程度が低い傾向が見られた。

②産科

	回答数(%)
1人	96(45.3)
2人	90(42.5)
3人	18(8.5)
4人	3(1.4)
5人以上	5(2.4)
小計	212(100.0)
無回答	291
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の産科医の数は、「1人」が45.3%、次いで「2人」が42.5%。

[クロス集計]: 病床数との差はみられなかった。地域別では九州、中国、近畿で不足の程度が低い傾向が見られた。

③内科

	回答数(%)
1人	84(22.0)
2人	140(36.6)
3人	72(18.8)
4人	29(7.6)
5人以上	57(14.9)
小計	382(100.0)
無回答	121
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の内科医の数は、「2人」が36.6%、次いで「1人」が22.0%。

[クロス集計]: 病床数との差はみられなかった。地域別では四国で不足の程度が低い傾向が見られた。

④外科

	回答数(%)
1人	95(52.2)
2人	62(34.1)
3人	13(7.1)
4人	6(3.3)
5人以上	6(3.3)
小計	182(100.0)
無回答	321
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の外科医の数は、「1人」が52.2%と最も多く、「2人」が34.1%。

[クロス集計]： 病床数との差はみられなかった。地域別では四国、近畿で不足の程度が低い傾向が見られた。

⑤放射線科

	回答数(%)
1人	144(77.4)
2人	33(17.7)
3人	8(4.3)
4人	0(0.0)
5人以上	1(0.5)
小計	186(100.0)
無回答	317
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の放射線科医の数は、「1人」が77.4%と圧倒的に多い。

[クロス集計]： 病床数との差はみられなかった。地域別では四国、九州、北海道で不足の程度が低く、東北、中国で高い傾向が見られた。

⑥麻酔科

	回答数(%)
1人	143(58.1)
2人	71(28.9)
3人	26(10.6)
4人	3(1.2)
5人以上	3(1.2)
小計	246(100.0)
無回答	257
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の麻酔科医の数は、「1人」が58.1%と最も多く、「2人」が28.9%。

[クロス集計]： 病床数との差はみられなかった。地域別では四国、近畿、中国、北海道の順に不足の程度が低く、東北、関東で高い傾向が見られた。

⑦病理科

	回答数(%)
1人	110(94.8)
2人	6(5.2)
3人	0(0.0)
4人	0(0.0)
5人以上	0(0.0)
小計	116(100.0)
無回答	387
計	503

Q9で、医師数が「足りていない」と答えた病院の病理科医の数は、「1人」が94.8%と圧倒的に多い。

[クロス集計]： 病床数との差はみられなかった。地域別では中国、四国、九州で不足の程度が低い傾向が見られ、明らかな西低東高の傾向がみられた。

⑧その他の診療科

	回答数(%)
1人	75(26.4)
2人	93(32.7)
3人	56(19.7)
4人	21(7.4)
5人以上	39(13.7)
小計	284(100.0)
無回答	219
計	503

[クロス集計]： 病床数との差はみられなかった。地域別では北海道、中国がやや不足の程度が高い傾向が見られた。

理 事 長 様
病 院 長 様

社団法人 日本病院会
会長 山本 修三

「勤務医に関する意識調査」及び「医師確保に係る調査」
ご協力をお願いについて

拝啓 貴院におかれましては益々ご清栄のことと拝察申しあげます。

日頃より、当会の事業には何かとご協力を賜りまして、厚くお礼申しあげます。

さて、医師の需給に関する諸課題のうち診療科における医師の偏在や地域における医師不足が喫緊の課題として指摘され、議論が進められています。

本会としても病院勤務医から開業医へといった医師のシフトが起こっていることや、医師の間に特定の診療科や地域に行くことを避ける傾向が高まっていることなどに重大な関心をもっております。

つきましては、大変お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり勤務医を対象とした「勤務医に関する意識調査」と、管理者を対象とした「医師確保に係る調査」を緊急に実施いたします。

ご協力方よろしくお願い申しあげます。

敬具

記

1. 調査名 「勤務医に関する意識調査」…………… 勤務医（常勤）を対象
「医師確保に係る調査」…………… 管理者を対象
2. 回答期限 平成18年7月28日（金）
3. 回答先 社団法人日本病院会 企画部 一之瀬
〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
TEL 03-3265-0077
FAX 03-3238-6788、03-3230-2898
E-mail ichinose@hospital.or.jp
4. 注記事項 ①本調査の病院名、個々のデータは公表いたしません。
②「勤務医に関する意識調査」は2部、「医師確保に係る調査」は1部を同封しました。
「勤務医に関する意識調査」の不足分はご面倒でも院内でコピーをお願いします。
できるだけ多くの方のご協力をお願いいたします。
③なるべく施設毎にまとめて回答の送付をお願いしますが、「勤務医に関する意識調査」はFAXなど個別の回答も受付ます。

「医師確保」に係る調査

病 院 名	
所 在 地	〒
記入担当者	(所属) (役職) (氏名)
電 話 番 号	
F A X 番 号	

※該当する箇所に レ印を付けてください

Q. 1 開設主体は次のどれですか。

- | | | |
|--|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 厚生労働省 (独立行政法人国立病院機構、旧国立病院・療養所) | <input type="checkbox"/> 7. 市 | <input type="checkbox"/> 8. 町村 |
| <input type="checkbox"/> 2. 文部科学省 (国立大学法人) | <input type="checkbox"/> 11. 済生会 | <input type="checkbox"/> 12. 厚生連 |
| <input type="checkbox"/> 3. 独立行政法人労働者健康福祉機構 (旧労働福祉事業団) | <input type="checkbox"/> 14. 国民健康保険団体連合会 | |
| <input type="checkbox"/> 4. その他 (国、独立行政法人) | <input type="checkbox"/> 16. 厚生年金事業振興団 | |
| <input type="checkbox"/> 5. 都道府県 | <input type="checkbox"/> 18. 健康保険組合及びその連合会 | |
| <input type="checkbox"/> 6. 指定都市 | <input type="checkbox"/> 20. 国民健康保険組合 | |
| <input type="checkbox"/> 9. 組合 | <input type="checkbox"/> 22. 医療法人社団 | |
| <input type="checkbox"/> 10. 日赤 | <input type="checkbox"/> 25. 特別医療法人 | <input type="checkbox"/> 26. 個人 |
| <input type="checkbox"/> 13. 北海道社会事業組合 | <input type="checkbox"/> 29. その他の法人 | |
| <input type="checkbox"/> 15. 全国社会保険協会連合会 | | |
| <input type="checkbox"/> 17. 船員保険会 | | |
| <input type="checkbox"/> 19. 共済組合及びその連合会 | | |
| <input type="checkbox"/> 21. 公益法人・社会福祉法人 | | |
| <input type="checkbox"/> 23. 医療法人財団 | | |
| <input type="checkbox"/> 24. 特定医療法人 | | |
| <input type="checkbox"/> 27. 学校法人 | | |
| <input type="checkbox"/> 28. 会社 | | |

Q. 2 開設主体の病床数は次のどれですか。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 20床～99床 | <input type="checkbox"/> 2. 100床～199床 |
| <input type="checkbox"/> 3. 200床～299床 | <input type="checkbox"/> 4. 300床～399床 |
| <input type="checkbox"/> 5. 400床～499床 | <input type="checkbox"/> 6. 500床～ |

Q. 3 開設主体の地域は次のどれですか。

- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 北海道 | <input type="checkbox"/> 2. 青森 | <input type="checkbox"/> 3. 岩手 | <input type="checkbox"/> 4. 宮城 |
| <input type="checkbox"/> 5. 秋田 | <input type="checkbox"/> 6. 山形 | <input type="checkbox"/> 7. 福島 | <input type="checkbox"/> 8. 茨城 |
| <input type="checkbox"/> 9. 栃木 | <input type="checkbox"/> 10. 群馬 | <input type="checkbox"/> 11. 埼玉 | <input type="checkbox"/> 12. 千葉 |
| <input type="checkbox"/> 13. 東京 | <input type="checkbox"/> 14. 神奈川 | <input type="checkbox"/> 15. 新潟 | <input type="checkbox"/> 16. 富山 |
| <input type="checkbox"/> 17. 石川 | <input type="checkbox"/> 18. 福井 | <input type="checkbox"/> 19. 山梨 | <input type="checkbox"/> 20. 長野 |
| <input type="checkbox"/> 21. 岐阜 | <input type="checkbox"/> 22. 静岡 | <input type="checkbox"/> 23. 愛知 | <input type="checkbox"/> 24. 三重 |
| <input type="checkbox"/> 25. 滋賀 | <input type="checkbox"/> 26. 京都 | <input type="checkbox"/> 27. 大阪 | <input type="checkbox"/> 28. 兵庫 |
| <input type="checkbox"/> 29. 奈良 | <input type="checkbox"/> 30. 和歌山 | <input type="checkbox"/> 31. 鳥取 | <input type="checkbox"/> 32. 島根 |
| <input type="checkbox"/> 33. 岡山 | <input type="checkbox"/> 34. 広島 | <input type="checkbox"/> 35. 山口 | <input type="checkbox"/> 36. 徳島 |
| <input type="checkbox"/> 37. 香川 | <input type="checkbox"/> 38. 愛媛 | <input type="checkbox"/> 39. 高知 | <input type="checkbox"/> 40. 福岡 |
| <input type="checkbox"/> 41. 佐賀 | <input type="checkbox"/> 42. 長崎 | <input type="checkbox"/> 43. 熊本 | <input type="checkbox"/> 44. 大分 |
| <input type="checkbox"/> 45. 宮崎 | <input type="checkbox"/> 46. 鹿児島 | <input type="checkbox"/> 47. 沖縄 | |

[二次医療圏名: _____]

※ご不明の場合は、保健所、都道府県に照会のうえご記入ください。

- Q. 4 医師数について、15年4月1日現在と18年4月1日現在を記入してください。
 (非常勤医師の場合は常勤換算してご記入ください。
 増員を予定していない診療科については、「備考欄」に○印を付してください。)

(単位：人)

区 分	15年4月1日現在(A)	18年4月1日現在(B)	差 引(B-A)	備 考
①小児科				
②産科				
③内科				
④外科				
⑤放射線科				
⑥麻酔科				
⑦病理科				
⑧その他				
合 計				

- Q. 5 Q4で診療科別の医師数が差引減になっている場合についてお尋ねします。
 差引減の主な理由は次のどれですか。(重複回答可)

区 分	主 な 理 由
①小児科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 定年前に開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 定年前に他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 定年前に大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院又は患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. その他
②産科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 定年前に開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 定年前に他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 定年前に大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院又は患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. その他

③内 科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 定年前に開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 定年前に他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 定年前に大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院又は患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. その他
④外 科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 外来患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 9. その他
⑤放射線科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 外来患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 9. その他
⑥麻 酔 科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 外来患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 9. その他

⑦病理科	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 外来患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 9. その他
⑧その他	<input type="checkbox"/> 1. 定年退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 2. 開業したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 3. 他病院に行ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 4. 大学に戻ったが後補充困難 <input type="checkbox"/> 5. 出産・育児等の家庭の事情により退職したが後補充困難 <input type="checkbox"/> 6. 入院患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 7. 外来患者数の減により採用抑制 <input type="checkbox"/> 8. 病床削減や外来患者数の減はないが、経営改善のため採用抑制 <input type="checkbox"/> 9. その他

Q. 6 医師の確保に向けて具体的に活動していますか。

1. 活動している 2. 活動していない

(1) [医師の確保には主にどのようなところに働きかけていますか。(複数回答可)]

1. 大学医局 2. 公的医療機関 3. 医療法人 4. 行政機関
 5. 知人・友人 6. その他(具体的に: _____)]

Q. 7 Q6で「活動している」と答えた方にお尋ねします。

医師の確保をしようとして6月以上要している場合であって、確保の目途が立っていない医師は次のどの診療科で何人ですか。(非常勤医師の場合は常勤換算してご記入ください。)

①小児科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

②産科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

③内科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

④外科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑤放射線科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑥麻酔科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑦病理科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑧その他

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

Q. 8 Q7で答えた方にお尋ねします。

医師の確保が難しい主な理由は次のどれですか。

1. 大学または他の病院から派遣できないと言われている
2. 公募に対して応募がない
3. 医師は見つかったが給与等の勤務条件で一致しない
4. その他

Q. 9 日頃の貴院の外来診療や入院治療の状況など地域の医療ニーズを踏まえ、貴院の医師数は現実的に足りていると考えていますか。

(病院経営や医師定数等を考慮せず、地域の医療ニーズに対して良質かつ適切な医療を提供する観点のみからお答えください。)

1. 足りている 2. 足りていない

Q. 10 Q9で「2. 足りていない」と答えた方にお尋ねします。

足りていないと考える医師は次のどの診療科で何人とお考えですか。

①小児科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

②産科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

③内科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

④外科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑤放射線科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑥麻酔科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑦病理科

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑧その他

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

ご協力ありがとうございました。

地域医療委員会 委員名簿

会 長	山 本 修 三	神奈川県済生会理事
副会長(担当)	池 澤 康 郎	中野総合病院理事長
委員 長	林 雅 人	平鹿総合病院総長
副委員 長	渡 部 透	新潟南病院院長
委 員	舘 田 邦 彦	市立旭川病院顧問
委 員	夏 川 周 介	佐久総合病院院長
委 員	松 本 文 六	天心堂へつぎ病院理事長
委 員	真鍋 克次郎	八幡中央病院理事長
委 員	吉 井 宏	済生会神奈川県病院院長

社団法人 日本病院会

〒102-8414

東京都千代田区一番町13-3

TEL 03-3265-0077

勤務医に関する意識調査
報告書

平成19年 3月

社団法人 日本病院会
地域医療委員会

目 次

はじめに	1
I. 調査目的	2
II. 調査要領	2
III. 回答状況	3
調査内容	38
委員名簿	45

は じ め に

以前からあった問題だが、近年になって急激に勤務医不足の進行した理由をさぐり、その対策を考える資料として「勤務医に関する意識調査」、「医師確保に係る調査」を日本病院会勤務医、病院管理者を対象として平成18年7月7日から7月28日にわたって行った。

回答は、勤務医 5,635人（勤務先病院21.1%）、病院管理者 576人（22.7%）であった。

その結果をまとめましたので、今後、医師に関する方向を考える資料としていただければ幸いです。

平成19年3月11日

社団法人 日本病院会
委員長 林 雅 人

I. 調査目的

医師の需給に関する諸課題のうち、診療科における医師の偏在や地域における医師不足が喫緊の課題として、病院勤務医から開業医へとといった医師のシフトが起きていることや、医師の間に特定の診療科や地域に行くことを避ける傾向が高まっていることなどが指摘されている。

このような状況を踏まえて、日本病院会会員病院の勤務医の意見を集約して、今後病院団体としての施策立案の参考とすることを目的に調査を実施した。

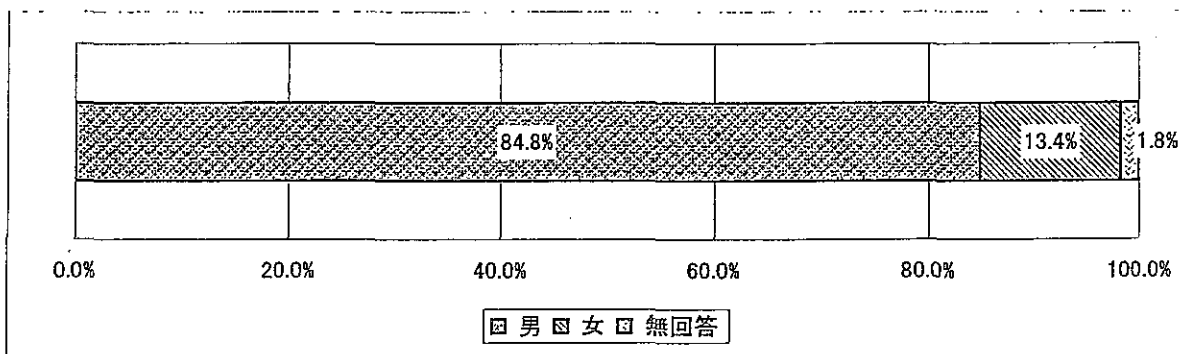
II. 調査要領

1. 調査方法 郵送による記名回答アンケート調査（平成18年7月実施）
2. 対象客体 日本病院会会員病院 2535病院
3. 調査表回収数 勤務医5635名
4. 調査内容 別紙（後掲）

Ⅲ. 回答状況

Q1 性別

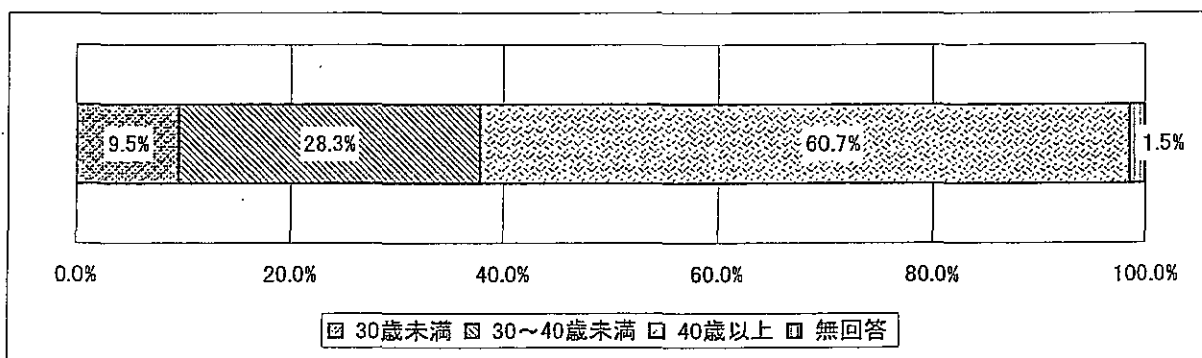
	回答数(%)
男	4,780(84.8)
女	753(13.4)
小計	5,533(98.2)
無回答	102(1.8)
計	5,635(100.0)



回答者は、男性医師が84.8%、女性医師が13.4%。

Q2 満年齢 (回答記入日)

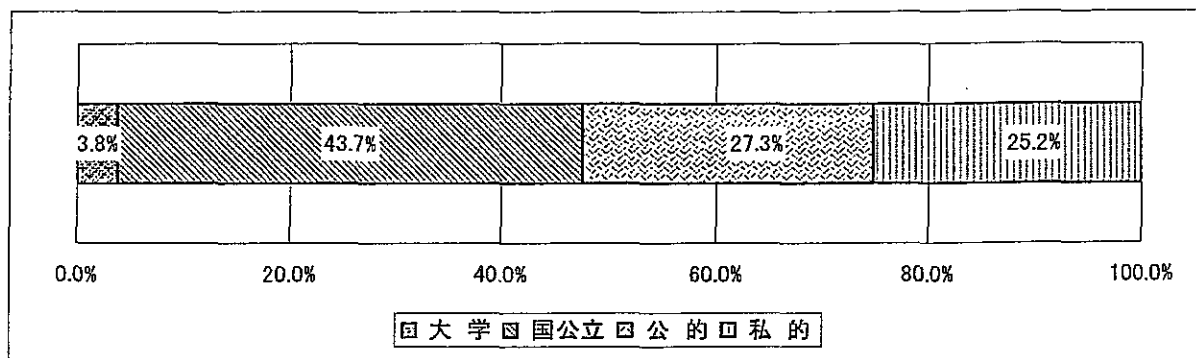
	回答数(%)
30歳未満	537(9.5)
30~40歳未満	1,594(28.3)
40歳以上	3,420(60.7)
小計	5,551(98.5)
無回答	84(1.5)
計	5,635(100.0)



回答者は「40歳以上」が60.7%と最も多く、次いで「30~40歳未満」が28.3%。

Q3 主たる勤務先（アルバイト先を除く）の開設主体は次のどれですか。

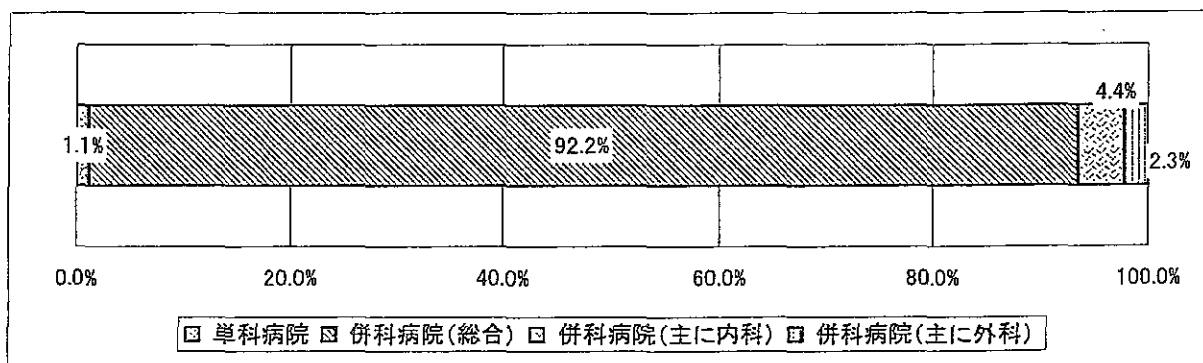
	回答数(%)
大学	216(3.8)
国公立	2,464(43.7)
公的	1,537(27.3)
私的	1,418(25.2)
計	5,635(100.0)



主たる勤務先（アルバイト先を除く）は「国公立」が43.7%と最も多く、次いで「公的」27.3%、「私的」25.2%。

Q4 勤務先の種類

	回答数(%)
単科病院	64(1.1)
併科病院(総合)	5,194(92.2)
併科病院(主に内科)	247(4.4)
併科病院(主に外科)	130(2.3)
計	5,635(100.0)



勤務先の種類は、「併科病院（総合）」が92.2%と圧倒的に多かった。